

計画改定スケジュールについて

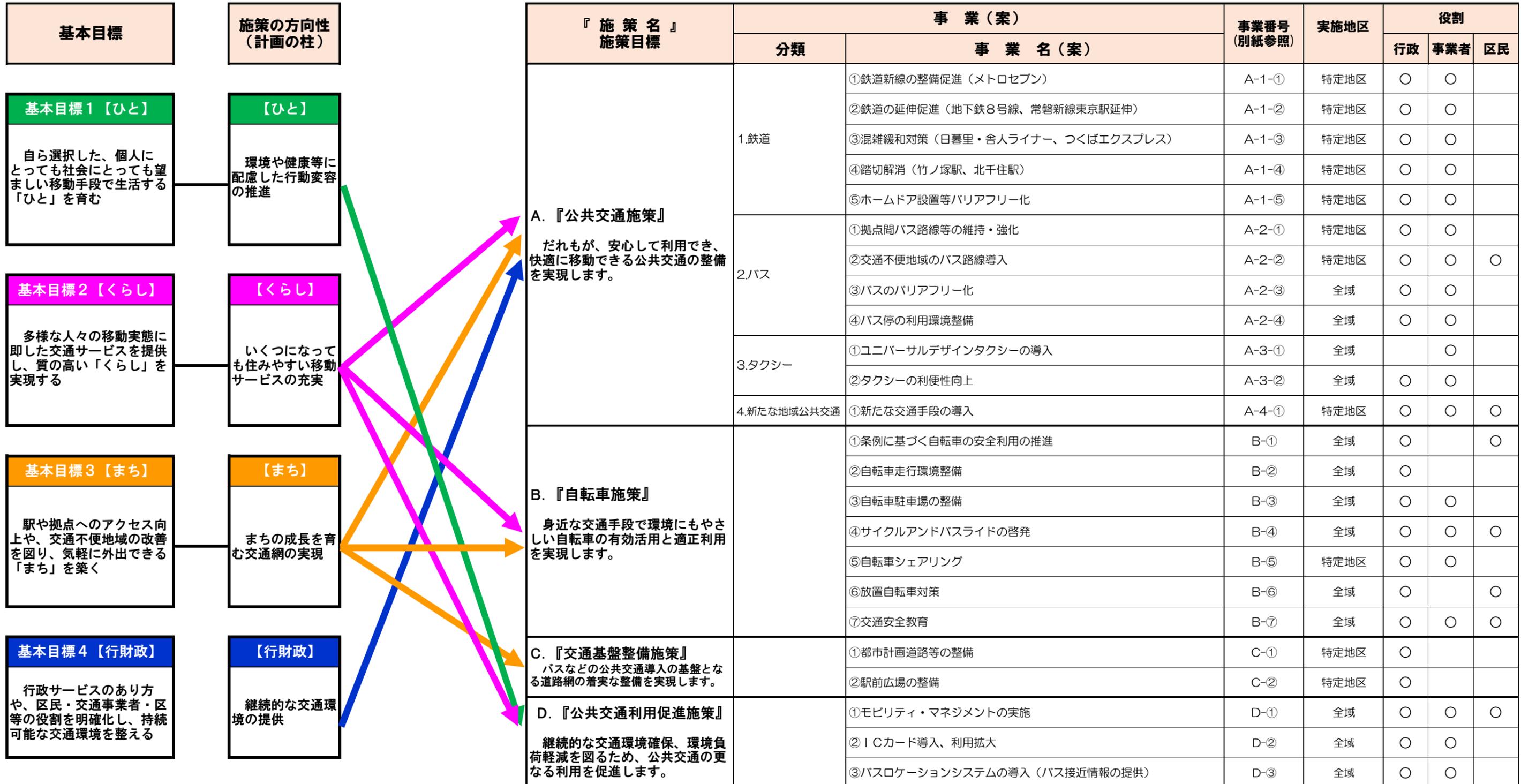
資料 1

年度	日付	会議名	主な検討内容
平成 29 年度	11月13日	第1回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画改定の目的 ・ 計画改定スケジュール ・ 各会の検討内容 ・ 既存計画の内容及び実施状況 等
	1月22日	第1回事業者部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行計画の検証及び課題整理について ・ 交通空白地域への対応について ・ 区民アンケートの実施について 等
	1月22日	第1回利用者部会	
	3月22日	第2回事業者部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民アンケート調査結果報告（速報値） ・ バス計画路線の見直しについて ・ 公共交通の利用促進について 等
	3月22日	第2回利用者部会	
平成 30 年度	4月25日	第2回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの検討状況について ・ 区民アンケート調査結果について 等
	6月5日	第3回事業者部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通空白地域への対応について ・ バス計画路線の見直しについて ・ 公共交通の利用促進について
	6月7日	第3回利用者部会	
	7月18日	第4回事業者部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な交通手段の活用について ・ 超高齢社会に対応した交通サービスについて ・ 改定計画の基本方針、目標（素案）について
	7月20日	第4回利用者部会	
	9月12日	第3回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの検討状況について ・ 改定計画の基本目標について ・ 改定計画の構成等について ・ バス計画路線の見直しについて
	10月17日	第5回事業者部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合交通計画改定の実施事業（案）について
	10月22日	第5回利用者部会	
	12月5日	第4回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合交通計画改定の実施事業（案）について ・ 改定計画の進行管理体制について ・ 財政支援の考え方について
	1月24日	第5回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画素案の検討
	3月頃	第6回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画案の確定（答申）

総合交通計画改定の実施事業（案）について

目指すべき姿

多様な人の移動を支える交通環境の整った「まち」足立 ~区民・地域・事業者・団体・行政が一丸となって地域課題を解決する力「協創力」により、持続可能な交通環境を整える~



事業番号：A-1-①

施策名：A. 公共交通施策

事業名：鉄道新線の整備促進（メトロセブン）

実施地区	特定地区
------	------

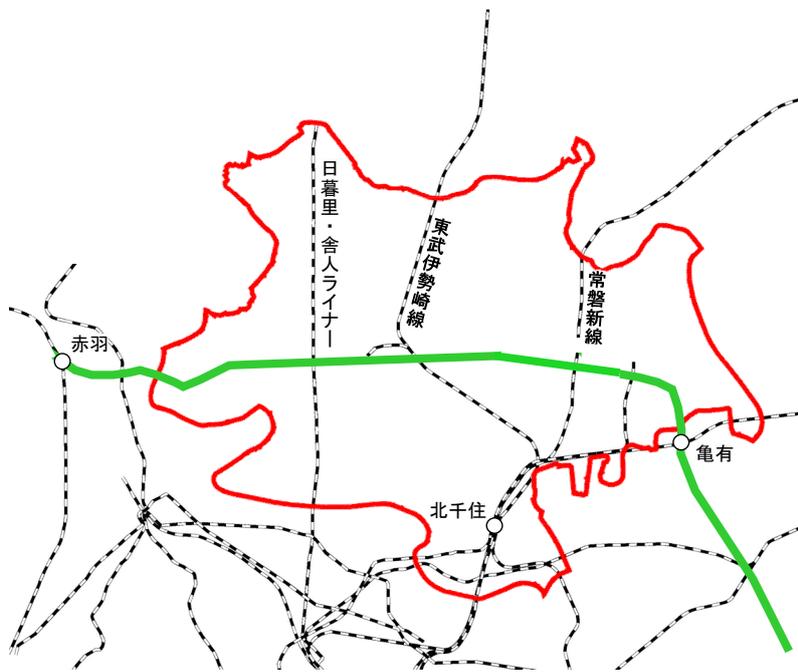
【現状】

平成28年4月に国の諮問機関である交通政策審議会答申第198号「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」では、「区部周辺部環状公共交通 葛西臨海公園～赤羽～田園調布」は「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」に位置づけられています。

現在、区部周辺部の新たな環状公共交通について東京都と関係区で構成する「区部周辺部環状公共交通都区連絡会」や足立区・葛飾区・江戸川区の3区で構成する環七高速鉄道（メトロセブン）促進協議会において、諸課題の解決を図るための検討や情報交換を行っています。

【進め方】

足立区：関係自治体等と連携しながら、メトロセブンの実現に向けた調査・研究を行っていきます。



出典：「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について（平成28年4月）」

【スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
	概ね5年	概ね10年	10年以降
鉄道新線の整備促進・メトロセブン	継続検討		
➔			

事業番号：A-1-②

施策名：A. 公共交通施策

事業名：鉄道の延伸促進

実施地区	特定地区
------	------

ア 地下鉄8号線（有楽町線）の区内延伸

【現状】

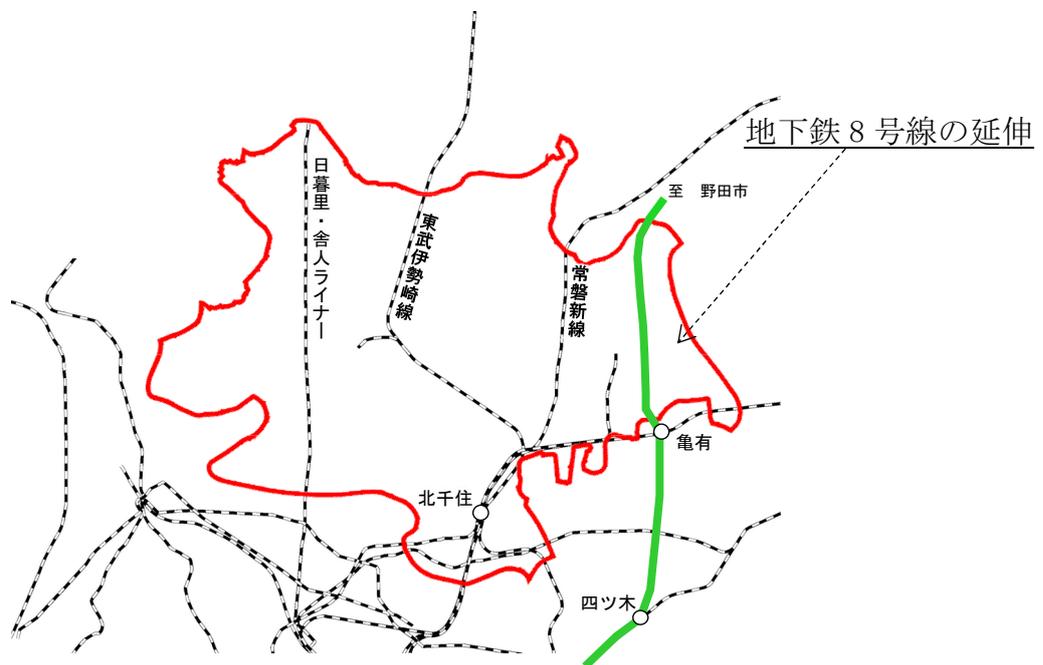
平成28年4月に国の諮問機関である交通政策審議会答申第198号「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」において、地下鉄8号線（有楽町線）の延伸は、概ね15年後の東京圏の目指すべき姿を実現する上で意義ある路線に位置付けられました。

足立区を通る「押上～野田市間」は、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトとして、都区部北東部、埼玉県東部及び千葉県北西部と都心部とのアクセス利便性の向上を期待されています。

足立区では、区内延伸への取り組みとして、平成10年から沿線地域住民、議会及び行政が一丸となり「地下鉄8号線整備促進大会」を開催する他、観光イベントにおけるPR活動等を実施し、地下鉄8号線（有楽町線）の区内延伸を目指しています。

【進め方】

足立区：答申の課題として示された「沿線自治体との協調」や「事業性の確保に向けた沿線開発」等の解決に向け、沿線自治体と連携を図り、実現に向け取り組んでいきます。



出典：「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について（平成28年4月）」

イ 常磐新線の延伸（秋葉原～東京）

【現状】

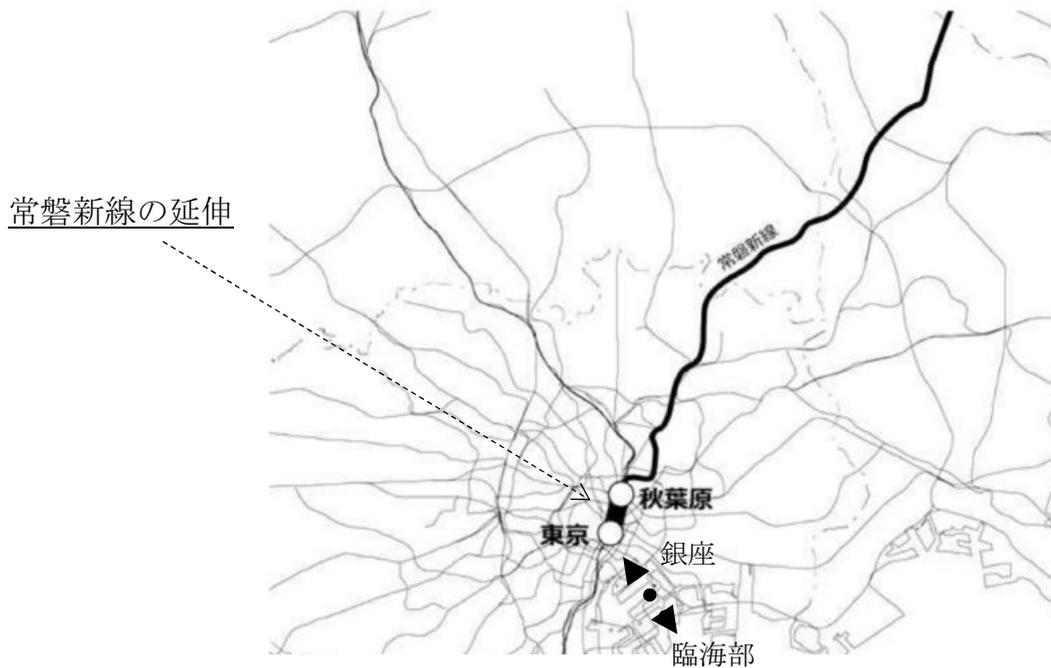
平成28年4月に国の諮問機関である交通政策審議会答申第198号「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」において、常磐新線の延伸（秋葉原～東京）は、国際競争力の強化に資する鉄道ネットワークのプロジェクトに位置づけられました。

また、都心部・臨海地域地下鉄構想の新設及び同構想と常磐新線の一体整備についても同答申では、触れられています。

【進め方】

足立区：引き続き、関係自治体と協力しながら実現に向けた要請活動を行っていきます。

鉄道事業者：答申の内容を踏まえ、必要な検討を行ってまいります。



出典：「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について（平成28年4月）」

【スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
鉄道の延伸	継続検討		
ア 地下鉄8号線	➔		
イ 常磐新線			

事業番号：A-1-③

施策名：A. 公共交通施策

事業名：混雑緩和対策

実施地区	特定地区
ア 日暮里・舎人ライナー	

【現状】

足立区を運行する鉄道路線のうち、平成 20 年 3 月に開業した日暮里・舎人ライナーは、開業当初の予測を大きく上回る利用者数となっています。

東京都交通局では、開業以降、車両を増備するとともに、朝ラッシュ時間帯に増発を行うなど、適宜輸送力の増強を図ってきており、ロングシートへの座席の改修など、車内レイアウトも改善しています。また、快適通勤の実現に官民で取り組む「時差 Biz」とも連携してオフピーク通勤を促進するキャンペーンを実施するなど、ハード、ソフト両面から混雑対策に取り組んできましたが、最混雑区間におけるピーク 1 時間当たりの混雑率が 187%（平成 29 年度）と、混雑状況が顕著となっています。

【進め方】

足立区：区のホームページや SNS など混雑緩和に関する取り組みについて、情報発信をしていきます。

鉄道事業者：朝ラッシュ時間帯の混雑緩和を図るため、2019 年度末に、座席を全てロングシートとし、全ての車両に車椅子スペース又はフリースペースを設けた新型車両を 2 編成増備します。また、時差 Biz と連携してオフピーク通勤を促進するキャンペーンを実施するなど、引き続きハード・ソフト両面から混雑対策に取り組んでいきます。

【全席ロングシート化された 320 形車両（H27.10 導入）】



※320 形の車内の写真

イ つくばエクスプレス

【現状】

新型車両を 2020 年春から 5 編成導入し、朝ラッシュ時間帯 1 時間の運行本数を現行の 2 本から 2 5 本に増やして混雑緩和を図ること、また、ボックスシートのある車両は 2 3 編成中 1 6 編成が平成 29 年度末までにロングシート化され、残り 7 編成についてもロングシート化を進めていくとの見解が示されております。

【進め方】

足立区 : 混雑緩和対策に関する取り組みについて、区のホームページや SNS など
 情報発信をしていきます。

鉄道事業者 : 車両編成 8 両化の検討を進めていきます。また、「時差 Biz」等のオフ
 ピーク通勤に関する取り組みを継続していきます。

【2020 年春から運行予定新型車両イメージ図】



【スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
混雑緩和対策 ア 日暮里舎人ライナー	車両増備 (2020 年) 目標値 : 2 編成増備		
	混雑緩和対策 継続実施		
イ つくばエクスプレス	新型車両導入や増便 (2020 年) 目標値 : 4 2 編成		
	混雑緩和対策 継続実施		

事業番号：A-1-④

施策名：A. 公共交通施策

事業名：踏切解消（竹ノ塚駅、北千住駅）

実施地区	特定地区												
<p>【現状】 竹ノ塚駅や北千住駅で、ピーク時遮断時間が40分以上の開かずの踏切が存在し道路渋滞の発生や地域の分断による生活の不便、踏切事故の危険性等の問題が発生しています。</p> <p>【進め方】 足立区：踏切解消に向け、竹ノ塚駅付近の連続立体交差事業の着実な事業推進を鉄道事業者と連携し進めていきます。北千住駅の踏切解消については、鉄道と道路の立体交差化を含めエリアデザイン計画の中で検討していきます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div style="text-align: center;"><p>竹ノ塚駅大踏切</p></div><div style="text-align: center;"><p>北千住駅大踏切（補助139号線）</p></div></div> <p>【スケジュール】</p> <table border="1"><thead><tr><th>取り組み</th><th>短期</th><th>中期</th><th>長期</th></tr></thead><tbody><tr><td>踏切解消 竹ノ塚駅付近</td><td>連続立体交差事業 (踏切解消2021年度末、以降のスケジュールは精査中) →</td><td></td><td></td></tr><tr><td>北千住駅付近</td><td>立体交差化の実現方策の検討 →</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>		取り組み	短期	中期	長期	踏切解消 竹ノ塚駅付近	連続立体交差事業 (踏切解消2021年度末、以降のスケジュールは精査中) →			北千住駅付近	立体交差化の実現方策の検討 →		
取り組み	短期	中期	長期										
踏切解消 竹ノ塚駅付近	連続立体交差事業 (踏切解消2021年度末、以降のスケジュールは精査中) →												
北千住駅付近	立体交差化の実現方策の検討 →												

(平成30年10月4日現在)

※平成30年1月31日予算プレス「踏切解消2021年度末、以降のスケジュールは精査中」

※現在、認可変更手続き準備中

事業番号：A-1-⑤

施策名：A. 公共交通施策

事業名：ホームドア設置等バリアフリー化

実施地区	特定地区
------	------

【現状】

鉄軌道駅のバリアフリーに関しては、「東京都福祉のまちづくり条例」に基づき、高齢者、障がい者等を含むすべての人が安全に安心して車両へ円滑に乗降できるよう配慮した構造とする必要があります。特に視覚障がい者の転落防止措置等の配慮を必要とする考え方が示されています。

現在、区内の駅でホームドアが設置されている駅は、TX全駅、日暮里・舎人ライナー全駅、東京メトロ千代田線・北綾瀬駅（1番線）、綾瀬駅（0番線）となっています。

また、国の移動等円滑化の促進に関する基本方針では、一日当たりの平均利用者数が3,000人以上の鉄軌道駅は、平成20年度までのバリアフリー化が求められており、区内では東武スカイツリーライン堀切駅が未対応となっています。

【進め方】

足立区：足立区鉄道駅ホームドア等整備事業費補助金交付要綱に基づき、鉄道事業者により事業費の補助を行ってまいります。堀切駅のエレベーター設置についても鉄道事業者と協力しながら実現に向け検討を行ってまいります。

鉄道事業者：区内全駅のホームドア設置に向け、順次整備を進めてまいります。

【ホームドアの設置事例（TX青井駅）】



【設置予定箇所】

設置時期	路線	駅名	箇所数
短期	日比谷線	北千住駅（ホームの管轄は東武鉄道）	9箇所
	千代田線	北千住駅、綾瀬駅	
	東武スカイツリーライン	北千住駅、小菅駅、五反野駅、梅島駅、西新井駅、竹ノ塚駅	
中・長期	東武スカイツリーライン	牛田駅、堀切駅、西新井駅（大師線）、大師駅	7箇所
	常磐線	北千住駅	
	京成本線	千住大橋駅、京成問屋駅（現時点では計画は未定）	

【スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
ホームドア	日比谷線、千代田線、東武スカイツリーラインの駅の一部 目標値：9箇所		
	その他の駅	目標値：7箇所	
エレベーター	継続検討 堀切駅		

事業番号：A-2-①

施策名：A. 公共交通施策

事業名：拠点間バス路線等の維持・強化

実施地区	特定地区
------	------

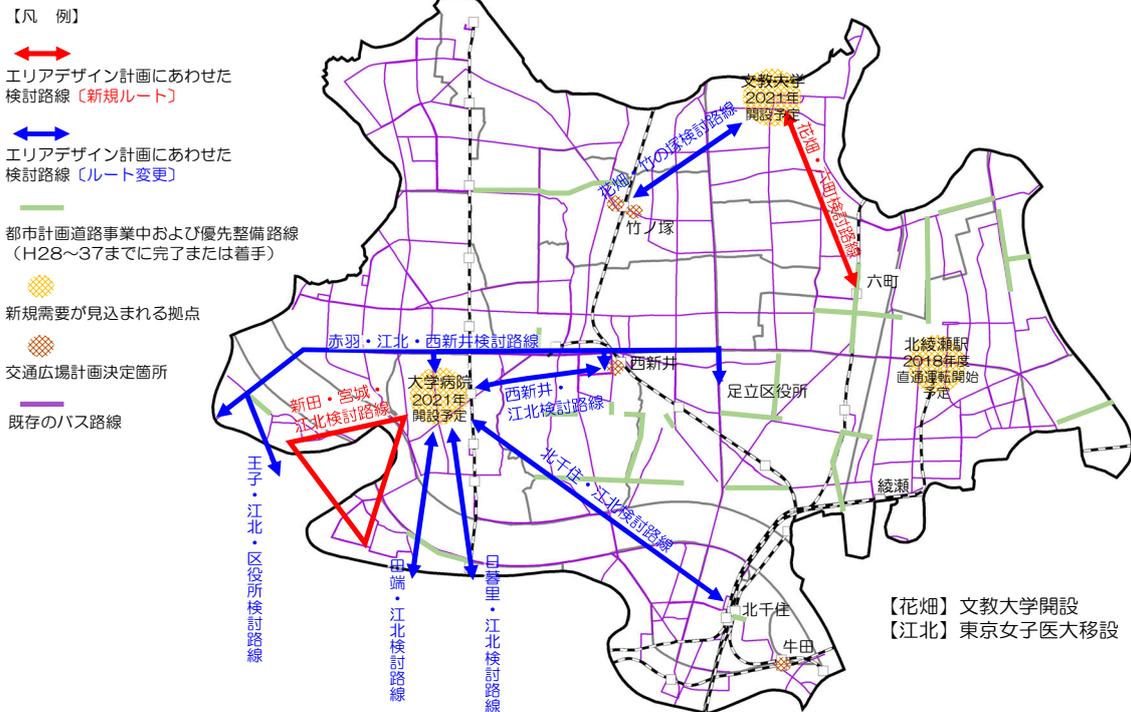
【現状】

足立区では、「綾瀬・北綾瀬」「六町」「江北」「花畑」と「千住」「西新井・梅島」「竹の塚」の7つのエリアを対象に、まちの特徴・魅力や求めるべき将来像などをエリアデザインとしてさらなるまちの魅力の向上を進めています。

【進め方】

足立区・バス事業者：2021年度に開設予定となっている花畑の文教大学、江北の大学病院等の新規需要が見込まれる拠点や都市計画道路の整備状況を踏まえ、拠点間バスネットワークの強化に向け検討を進めていきます。

【拠点間バス路線検討図】



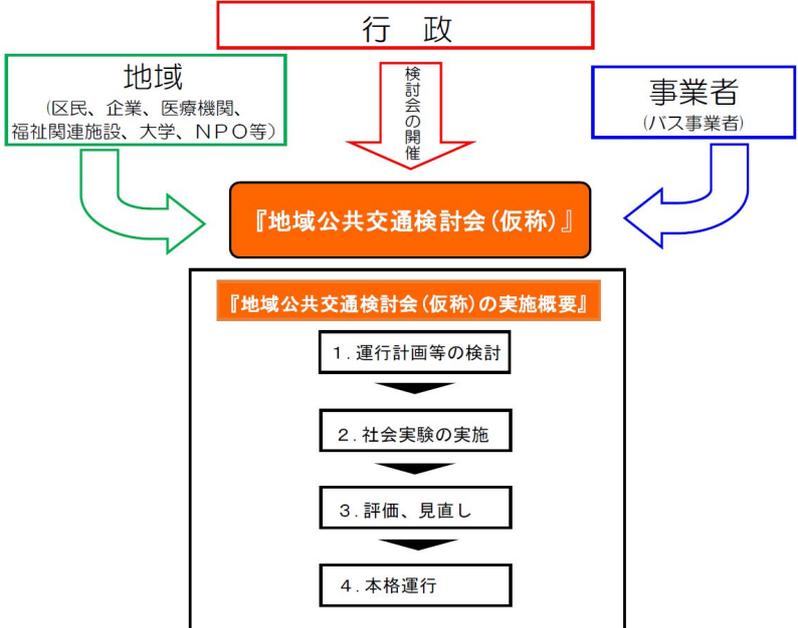
【スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
拠点間バス路線等の維持・強化	文教大学・東京女子医大病院の開設（2021年度予定）に合わせたバス路線検討		
	都市計画道路の整備や新たな拠点開発に合わせたバス路線の再編検討		

事業番号：A-2-②

施策名：A. 公共交通施策

事業名：交通不便地域のバス路線導入

実施地区	特定地区								
<p>【現状】</p> <p>日常生活における移動について、目的地までの利便性が悪く不便度が高い地域があります。その地域の中でも、不便を解消する手段としてバス交通に対するニーズが高い地域が存在しています。</p> <p>【進め方】</p> <p>行政、バス事業者、地域が連携し「地域公共交通検討会（仮称）」を立ち上げ、運行計画の検討や社会実験を実施しながら不便度解消に資するバス交通導入を目指していきます。</p> <p>足立区：「地域公共交通検討会（仮称）」を立ち上げ、地域やバス事業者と協力し、バスの運行計画検討や社会実験運行を行っていきます。その後、効果検証等を踏まえ本格運行を目指していきます。</p> <p>バス事業者：バス運行の最適なルートや収支予測など事業者としての立場から技術的助言を行っていきます。</p> <p>区民：地域全体の利便性向上を目指し、地域における不便実態やバス需要を集約します。また、利用促進活動を推進していきます。</p> <p>【事業イメージ】</p>  <p>【スケジュール】</p> <table border="1"><thead><tr><th>取り組み</th><th>短期</th><th>中期</th><th>長期</th></tr></thead><tbody><tr><td>交通不便地域のバス路線導入</td><td>●モデル地域（1箇所） 組織の立ち上げ→運行計画検討 →社会実験→本格運行</td><td>●その他地域（順次） 組織の立ち上げ→運行計画検討→ 社会実験→本格運行</td><td></td></tr></tbody></table>		取り組み	短期	中期	長期	交通不便地域のバス路線導入	●モデル地域（1箇所） 組織の立ち上げ→運行計画検討 →社会実験→本格運行	●その他地域（順次） 組織の立ち上げ→運行計画検討→ 社会実験→本格運行	
取り組み	短期	中期	長期						
交通不便地域のバス路線導入	●モデル地域（1箇所） 組織の立ち上げ→運行計画検討 →社会実験→本格運行	●その他地域（順次） 組織の立ち上げ→運行計画検討→ 社会実験→本格運行							

事業番号：A-2-③

施策名：A. 公共交通施策

事業名：バスのバリアフリー化

実施地区

区全域

【現状】

区内を走るバスの車両は、誰もが利用しやすいノンステップバスが運行されていますが、一部の車両では導入されていない状況です。

【進め方】

高齢者、障がい者、車いす利用者、小さなお子様をお連れの方、ベビーカー利用者など、誰もが利用しやすいノンステップバスを、順次導入していきます。

【バス車両のワンステップ事例】



【バス車両のノンステップ事例】



【スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
バスのバリアフリー化	継続実施		
	→		

事業番号：A-2-④

施策名：A. 公共交通施策

事業名：バス停の利用環境整備

実施地区 区全域

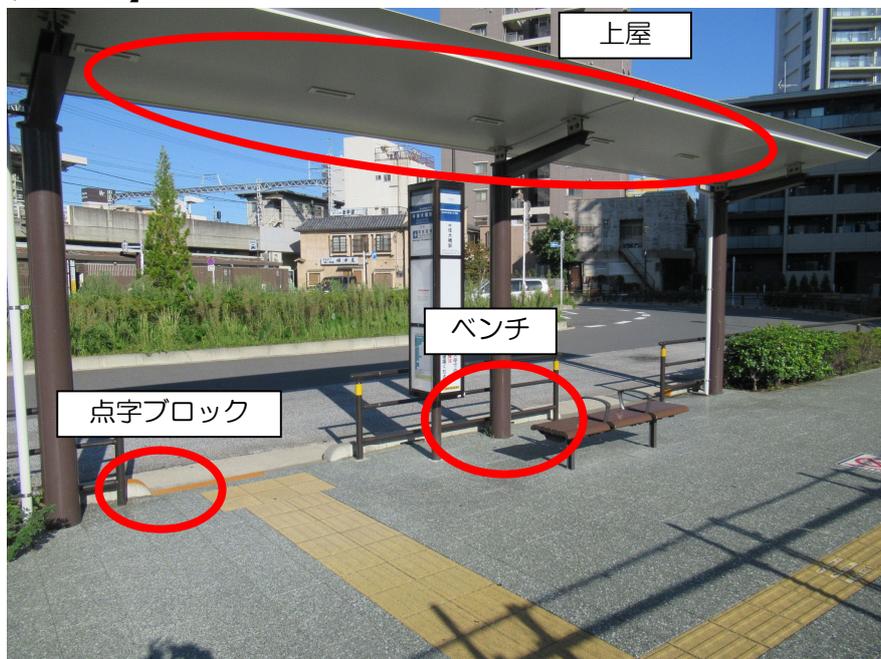
【現状】

障がいのある方や高齢者など誰もがバスを利用しやすい環境を整備するため、バス停にベンチや上屋、点字ブロックの設置を進めています。

【進め方】

歩道幅員や地下埋設物などの条件が整い、ベンチや点字ブロックを設置可能なバス停の整備をバス事業者と連携しながら進めていきます。あわせて、交通広場の整備等にあわせて上屋を設置します。

【整備バス停イメージ】



【スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
バス停の利用環境整備	継続実施 目標値：ベンチ 24 箇所、 点字ブロック 123 箇所	目標値：ベンチ 24 箇所、点字ブ ロック 122 箇所	
はるかぜ			
路線バス	継続実施		

事業番号：A-3-①

施策名：A. 公共交通施策

事業名：ユニバーサルデザインタクシーの導入

実施地区 | 区全域

【現状】

ユニバーサルデザインタクシー（UDタクシー）とは、足腰の弱い高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方など、誰もが利用しやすい「みんなにやさしい新しいタクシー車両」です（運賃料金は一般のタクシーと同じです）。現在、UDタクシーの普及が進んでいます。

【進め方】

タクシー事業者：誰もが快適に利用できるUDタクシーの更なる普及を進めていきます。

※ 都内約3万台の法人タクシーの内1万台を2020年までに導入を目標

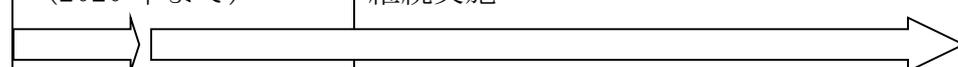
【ユニバーサルデザインタクシーのイメージ】



出典：国土交通省ホームページ

【スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
ユニバーサルデザイン ンタクシーの導入	目標値：1万台（都内） （2020年まで）	継続実施	



事業番号：A-3-②

施策名：A. 公共交通施策

事業名：タクシーの利便性向上

実施地区 | 区全域

【現状】

タクシーは、鉄道・バス等とともに地域の交通を担っている重要な交通機関です。
タクシーが、地域公共交通としての機能を十分に発揮できるよう利便性の向上を図ることが必要です。

【進め方】

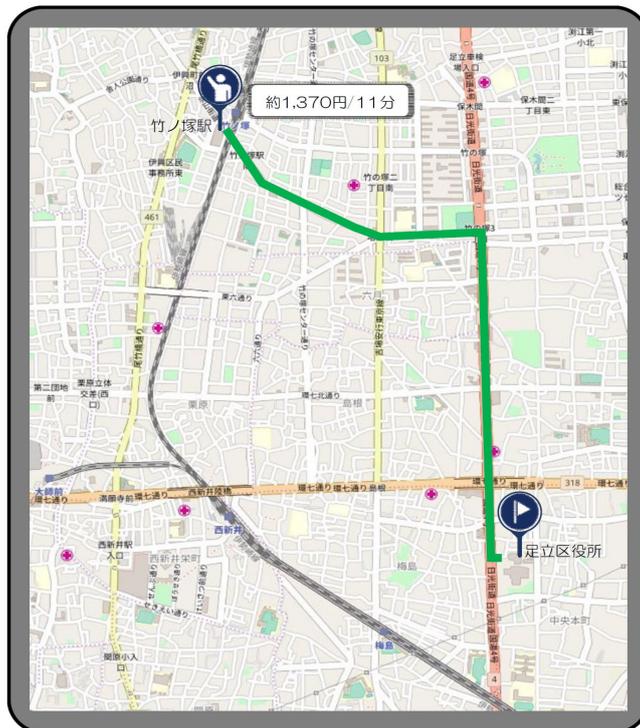
足立区 : 配車アプリの使い方や電話での予約方法など、タクシーの利便性向上につながる情報を発信していきます。
タクシー事業者：GPS機能を活用したスマホ配車アプリなど、効率的なタクシーの配車を実現できるよう検討を進めていきます。

【配車アプリとは】

名前と電話番号を登録し、タクシーを呼ぶ場所を指定するだけで、今すぐ呼ぶことや、予約すること、料金検索等ができます。待ち時間も表示されます。

※ 236社 20,842台（約67%）導入（2018年3月時点）

【画面イメージ】



【スケジュール】

取り組み	短期	中期	長期
タクシーの利便性向上	継続実施		
	➔		